



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	宇都宮都市計画道路 3・3・1 0 2 号宇都宮水戸線外1路線 宇都宮市 <sup>やなげまち</sup> 築瀬町 築瀬町工区 L = 862m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

# I 事業の概要

## 【目的】

本都市計画道路は、宇都宮市中心市街地を東西に横断する延長約17kmの都市の骨格を形成する幹線街路であり、宇都宮市の東西交通を担う大動脈として重要な路線である。また、本事業区間は、市の都心環状線の一部であり、商業・業務などの経済活動を支える交通の要衝として重要な役割を担っている。

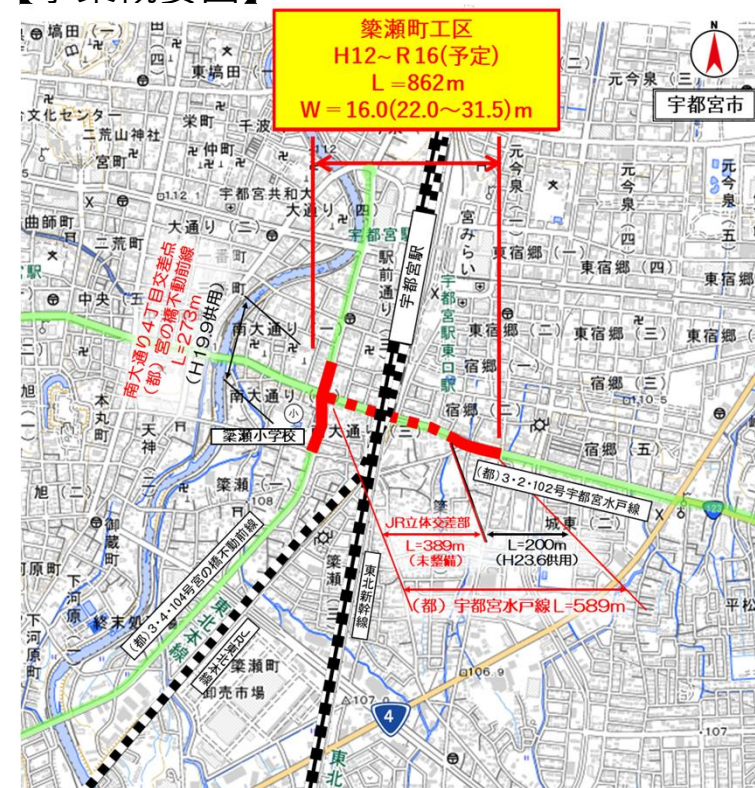
しかしながら、本事業区間は、事業区間の前後が4車線で供用されているが、JR線との立体交差部が2車線に絞られたボトルネックとなっていること、南大通り4丁目交差点がクランク形状（現在解消済み）であることから、慢性的な交通渋滞が発生しており、緊急輸送道路に指定されているものの、救命救急車両等は、交通渋滞を避け周辺道路へ迂回している状況にある。

このため、JR線立体交差部の拡幅工事及びクランク交差点の解消により交通渋滞の緩和を図り、併せて電線類の地中化を実施することで安心・安全な都市機能の向上を図るものである。

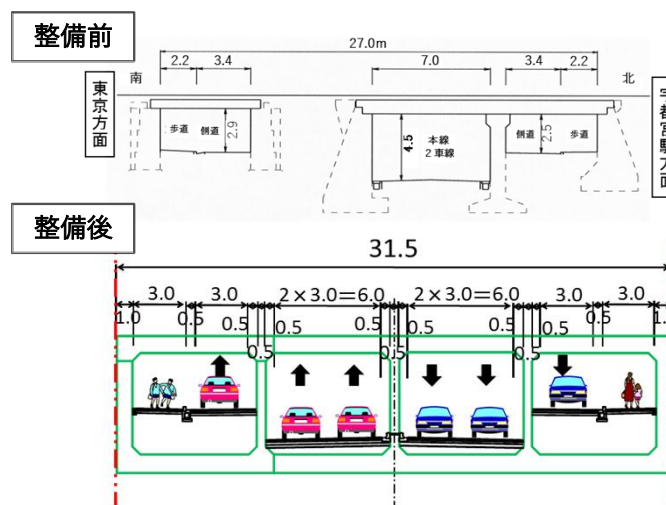
## 【現況】

目標事業期間 (変更前)	平成12年度～令和16年度 (平成12年度～令和12年度)		
事業経過	平成12年度	事業化	
	平成12年度	用地着手	
	平成16年度	工事着手	
全体事業費 [うち用地補償費]	165.0 (113.2) 億円 [ 52.2 (54.4) 億円] ※ ( ) は前回計画時		
事業延長 [うち整備済延長]	L = 862m [L = 473m]		
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】		
	費用	進捗率	
	既投資事業費	68.1億円	41%
	[うち用地補償費	50.1億円	96%]

## 【事業概要図】

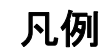
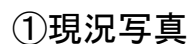



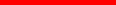
## 【標準横断面図】





## 【箇所概要】



事業箇所(整備済)	
事業箇所(未整備)	
緊急輸送道路	



## II 事業の評価

### 【今後の事業進捗の見込み】

- 事業期間の見直し  
令和12年度 ⇒ 令和16年度
- 総事業費の見直し  
113.2億円 ⇒ 165.0億円

### 【全体事業費の見直し】

前回計画  
(R 4 年度)

今回計画

	事業費	113.2億円 ⇒ 165.0億円 (+ 51.8億円)
内	工事費	58.8億円 ⇒ 112.8億円 (+ 54.0億円)
訳	用地補償費	54.4億円 ⇒ 52.2億円 (－ 2.2億円)

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	2.4	468.8億円	198.0億円
(2)残事業	2.4	153.6億円	64.0億円

#### 2 事業の整備効果等

- 都心環状線の骨格強化による都市機能向上と鉄道をはさむ東西市街地間の交流促進による市街地活性化
- 交通渋滞の緩和と都市内交通の円滑化や自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保
- 救命救急活動や都市防災機能等の強化

## II 事業の評価

### 【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

#### 1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 41%
- 用地 96%
- 工事 16%

#### 2 今後の事業進捗の見込み

- 用地取得、工事を推進し、令和16年度を目標に事業完了を図る。



### 【コスト縮減等】

#### 1 コスト縮減方策

- 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- 無電柱化の低コスト手法の活用によるコスト縮減を図る。

#### 2 代替案立案等の可能性

- 96%の用地補償を実施済みであり、一部工事にも着手していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

### 【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。